

1. 会務報告

(1) 庶務

会員に関する件

- ◎ 令和6年1月1日現在の群馬県医師会会員数はA会員1,256名、B会員1,054名、C1会員115名、C2会員141名、計2,566名で郡市医師会別会員数は第1表のとおりである。新規入会数はA会員25名、B会員82名、C1会員19名、C2会員60名、計186名であり、前年同期に比較してみるとA会員15名減、B会員7名減、C1会員3名増、C2会員24名増、計19名増である。
- ◎ 令和6年1月1日現在における群馬県医師会の日本医師会会員数はA①会員1,251名、A②(B)会員425名、A②(C)会員69名、B会員306名、C会員65名、計2,116名で郡市医師会別会員数は第2表のとおりである。新規入会数はA①会員23名、A②(B)会員25名、A②(C)会員37名、B会員32名、C会員41名、計158名である。
- ◎ 群馬県医師会敬寿会員数（令和6年1月1日76歳に達した会員）は351名で郡市医師会別現況は第3表のとおりである。
- ◎ 令和5年度群馬県医師会会費減免申請者数は373名で第4表のとおりである。
- ◎ 令和5年4月1日以降令和6年3月31日までに物故会員数は25名で第5表のとおりである。

第1表 群馬県医師会会員数現況表

令和6年1月1日現在

区 分 医師会別	A	B	C 1	C 2	計	総員対比
前 橋 市	292 (5)	189 (13)	5 (0)	38 (19)	524 (37)	20.4%
高 崎 市	230 (9)	233 (25)	4 (2)	42 (17)	509 (53)	19.8%
桐 生 市	114 (2)	88 (3)	0 (0)	6 (0)	208 (5)	8.1%
伊 勢 崎 佐 波	126 (0)	137 (7)	1 (0)	1 (0)	265 (7)	10.3%
太 田 市	127 (3)	47 (1)	0 (0)	0 (0)	174 (4)	6.8%
群 馬 郡	50 (1)	22 (2)	1 (0)	0 (0)	73 (3)	2.8%
渋 川 地 区	54 (0)	50 (7)	1 (0)	7 (3)	112 (10)	4.4%
藤 岡 多 野	52 (2)	41 (1)	0 (0)	11 (5)	104 (8)	4.1%
富岡市甘楽郡	46 (1)	25 (1)	0 (0)	0 (0)	71 (2)	2.8%
安 中 市	29 (0)	31 (2)	0 (0)	0 (0)	60 (2)	2.3%
吾 妻 郡	18 (1)	31 (4)	0 (0)	0 (0)	49 (5)	1.9%
沼 田 利 根	36 (0)	61 (6)	0 (0)	6 (0)	103 (6)	4.0%
館林市邑楽郡	82 (1)	32 (3)	0 (0)	4 (4)	118 (8)	4.6%
群 馬 大 学	0 (0)	67 (7)	103 (17)	26 (12)	196 (36)	7.6%
計	1,256 (25)	1,054 (82)	115 (19)	141 (60)	2,566 (186)	100.0%
前 年 同 期	1,271	1,047	112	117	2,547	
増 減	-15	7	3	24	19	

() の数字は新規入会数

第2表 日本医師会員数現況表

令和6年1月1日現在

医師会別	区分	A①	A②(B)	A②(C)	B	C	計	総員対比
前橋市		292 (5)	50 (1)	13 (7)	47 (5)	19 (12)	421 (30)	19.9%
高崎市		229 (8)	119 (10)	38 (20)	42 (3)	4 (3)	432 (44)	20.4%
桐生市		113 (2)	66 (1)	2 (2)	13 (1)	4 (4)	198 (10)	9.4%
伊勢崎佐波		126 (0)	62 (2)	0 (0)	66 (5)	1 (1)	255 (8)	12.1%
太田市		126 (3)	27 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	164 (4)	7.8%
群馬郡		50 (1)	8 (1)	0 (0)	6 (1)	0 (0)	64 (3)	3.0%
渋川地区		55 (0)	14 (2)	6 (3)	25 (4)	1 (0)	101 (9)	4.8%
藤岡多野		52 (2)	9 (1)	9 (4)	8 (0)	2 (1)	80 (8)	3.8%
富岡市甘楽郡		44 (1)	9 (0)	0 (0)	14 (1)	0 (0)	67 (2)	3.2%
安中市		29 (0)	22 (2)	0 (0)	9 (0)	0 (0)	60 (2)	2.8%
吾妻郡		17 (0)	18 (2)	0 (0)	13 (2)	0 (0)	48 (4)	2.3%
沼田利根		36 (0)	2 (0)	0 (0)	15 (2)	6 (6)	59 (8)	2.8%
館林市邑楽郡		82 (1)	13 (0)	1 (1)	7 (1)	3 (3)	106 (6)	5.0%
群馬大学		0 (0)	6 (3)	0 (0)	30 (6)	25 (11)	61 (20)	2.9%
計		1,251 (23)	425 (25)	69 (37)	306 (32)	65 (41)	2,116 (158)	100.0%
前年同期		1,268	426	61	280	50	2,085	
増減		-17	-1	8	26	15	31	

() の数字は新規入会数

第3表 群馬県医師会敬寿会員数現況表

令和6年1月1日現在

医師会別	区分	A	B	C	合計
前橋市		38	55	0	93
高崎市		20	52	0	72
桐生市		22	15	0	37
伊勢崎佐波		12	11	0	23
太田市		22	11	0	33
群馬郡		6	3	0	9
渋川地区		3	10	0	13
藤岡多野		3	7	0	10
富岡市甘楽郡		6	4	0	10
安中市		5	2	0	7
吾妻郡		4	3	0	7
沼田利根		3	8	0	11
館林市邑楽郡		12	9	0	21
群馬大学		0	5	0	5
計		156	195	0	351

(注) 敬寿会員は76歳以上とする。

第4表 群馬県医師会会費減免状況表

令和5年4月1日から令和6年3月31日

(金額単位：千円)

区分 医師会別	高 齢				疾病・出産育児				卒後5年間						研 修 医			専 攻 医		
	A	B	合計		A	B	合計		A	B	C 1	C 2	合計		C 2	合計		C 1	合計	
	人数	人数	人数	金額	人数	人数	人数	金額	人数	人数	人数	人数	人数	金額	人数	人数	金額	人数	人数	金額
前 橋 市	12	33	45	2,600	0	1	1	30	0	1	5	20	26	282	18	18	216	0	0	0
高 崎 市	13	33	46	2,680	0	1	1	30	0	0	4	25	29	348	17	17	204	0	0	0
桐 生 市	10	8	18	1,610	0	0	0	0	1	0	0	6	7	218	0	0	0	0	0	0
伊勢崎佐波	3	4	7	470	0	1	1	30	0	2	1	1	4	66	0	0	0	0	0	0
太 田 市	5	10	15	870	1	1	2	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群 馬 郡	2	0	2	200	1	0	1	150	0	0	1	0	1	12	0	0	0	0	0	0
渋 川 地 区	0	7	7	200	0	0	0	0	0	0	1	3	4	48	4	4	48	0	0	0
藤 岡 多 野	0	3	3	70	0	0	0	0	0	1	0	5	6	90	6	6	72	0	0	0
富岡市甘楽郡	3	4	7	570	0	1	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安 中 市	1	0	1	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吾 妻 郡	1	1	2	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沼 田 利 根	2	4	6	320	0	0	0	0	0	0	0	6	6	72	0	0	0	0	0	0
館林市邑楽郡	3	3	6	540	0	0	0	0	0	0	0	4	4	48	0	0	0	0	0	0
群 馬 大 学	0	1	1	30	0	0	0	0	0	0	32	11	43	516	15	15	180	10	10	120
合 計	55	111	166	10,490	2	5	7	410	1	4	44	81	130	1,700	60	60	720	10	10	120
総 合 計	373名 13,440千円																			

第5表 物故会員氏名（敬称略）

令和5年4月1日から令和6年3月31日

郡市医師会	物故者氏名	死亡年月日	享年
太 田 市 医 師 会	大 木 一 郎	令和5年4月20日	90歳
太 田 市 医 師 会	大 澤 和 四	令和5年4月23日	89歳
前 橋 市 医 師 会	常 澤 成 美	令和5年5月7日	58歳
沼 田 利 根 医 師 会	武 士 登	令和5年5月17日	98歳
藤 岡 多 野 医 師 会	井 田 仁 一	令和5年5月29日	84歳
前 橋 市 医 師 会	八 木 茂	令和5年6月14日	73歳
桐 生 市 医 師 会	杉 浦 丹	令和5年7月2日	87歳
太 田 市 医 師 会	梅 澤 久 男	令和5年7月8日	85歳
高 崎 市 医 師 会	斎 川 俊 一	令和5年7月19日	98歳
伊勢崎佐波医師会	飯 野 行 一	令和5年7月28日	89歳
太 田 市 医 師 会	鹿 山 徳 男	令和5年8月14日	93歳
桐 生 市 医 師 会	菅 俊 郎	令和5年9月23日	71歳
高 崎 市 医 師 会	阿 部 忠	令和5年11月13日	96歳
渋 川 地 区 医 師 会	安 齋 要	令和5年11月26日	56歳
高 崎 市 医 師 会	深 町 正	令和5年12月5日	68歳
桐 生 市 医 師 会	山 本 輝 通	令和5年12月19日	93歳
高 崎 市 医 師 会	井 上 博	令和5年12月23日	76歳
富岡市甘楽郡医師会	神 部 重八洲	令和5年12月27日	94歳
前 橋 市 医 師 会	若 松 良 二	令和6年1月1日	74歳
桐 生 市 医 師 会	大 前 暹 二	令和6年1月16日	90歳
渋 川 地 区 医 師 会	後藤田 祐 宏	令和6年3月6日	76歳
富岡市甘楽郡医師会	小 泉 浩 吉	令和6年3月9日	88歳
太 田 市 医 師 会	有 坂 實	令和6年3月12日	83歳
館 林 市 邑 楽 郡 医 師 会	須 田 孝 雄	令和6年3月15日	63歳
桐 生 市 医 師 会	栗 原 嘉 雄	令和6年3月27日	94歳

(2) 事業

I 医療従事者資質向上事業

第1. 医療保険対策事業

国民皆保険制度のもと、県民が適切な医療を受けることができるよう医療保険制度に関する事項について検討し、会員への教育・指導・情報提供を行うことにより県民へ安心・安全な医療を提供する。

1. 医療保険委員会

郡市医師会担当理事に対し保険審査に関する取り組み及び今後の方向性等を報告した。令和5年度関東甲信越医師会連合会医療保険部会の協議内容について検討が行われた。

開催日：令和5年5月16日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：21名
〈議題〉

- ア. 令和5年度関東甲信越医師会連合会医療保険部会検討テーマ及び提案要旨について
- イ. 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について
- ウ. 令和5年5月8日からの新型コロナ感染症の公費取扱いについて
- エ. 新型コロナウイルス感染症への対応について【第2報】（医療機関向けのリーフレット）
- オ. 適時調査における院内ラウンド調査の再開について

2. 個別指導

対象医療機関25施設（病院0、診療所25）。関東信越厚生局群馬事務所の依頼により全ての個別指導に県医師会理事が同席し、意見を述べた。

3. 関東甲信越医師会連合会医療保険部会

開催日：令和5年10月1日 於：ホテル東日本宇都宮 出席者：37名
各都県の医療保険担当理事が出席し、会議では次の検討テーマについて、協議・意見交換が行われた。

- (1) オンライン資格確認における現状と今後の課題
- (2) 診療報酬本体部分の引き上げについて
- (3) 新型コロナ感染症5類移行後の問題点

第2. 生涯教育事業

医師は、日進月歩の医学・医療を実践するために、生涯に亘って知見を広げ、技能を磨き、常に自らを研鑽する責務を負っている。県医師会では、日本医師会生涯教育制度に従い、84のカリキュラムコードに対応した講習会・講演会・ワークショップ・学会等を県内で開催した。

群馬県における医師確保対策の取り組みを強化するため群馬県が令和元年10月に立ち上げた「ぐんま総合医学会」の活動の一つとして研修医同士の交流や情報交換の場となる、「群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション」の開催を担当している。

1. 学術・生涯教育委員会

開催日：令和5年9月26日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名
〈議題〉

- (1) 令和4年度生涯教育制度郡市別（診療科目別）単位取得状況について
- (2) 令和4年度生涯教育制度高単位取得者について
- (3) 令和4年度カリキュラムコード実施状況について
- (4) 令和5年度秋季群馬県医学会について

(5) 令和6年度春季群馬県医学会の開催について

2. 日本医師会生涯教育制度

令和4年度における会員の生涯教育講座出席の記録をシステムにて管理し、一括申告を行った。なお、令和5年4月から令和6年3月までに日本医師会生涯教育制度対象講座として認定・開催した件数は807件であった。

3. 令和5年度群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション

開催日：令和5年4月13日 於：グリーンドーム前橋 サブイベントエリア 出席者：148名

特別講演：「医師の働き方改革について」

講師：日本医師会 会長 松本吉郎 先生

第3. 看護師等充足対策事業

看護師不足を解消するために看護師を志望する者を積極的に公募した。

また、医師会立看護師等養成所の円滑な運営を支援するための施策を実施するとともに情報収集に努め、情報を共有した。さらに、助産師充足対策として、助産師養成の助成を行った。

1. 医師会立看護師等養成所長会議

開催日：令和5年7月22日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：62名

(1) 医務課からの連絡事項

- ア. 令和5年度主な看護職員確保対策について
- イ. 令和4年度末看護職員業務従事者届結果について
- ウ. 令和4年度看護師等資格試験の結果について
- エ. 看護師等養成所の卒業生就業状況及び入学状況について
- オ. 委託訓練の実施状況について

(2) 群馬県立県民健康科学大学からの連絡事項

(3) 議事及び情報交換等

- ア. 授業料等（生徒、学生負担金）の値上げについて（前橋市医師会）
- イ. 看護学校学納金一覧について（群馬県医師会）
- ウ. FM群馬での宣伝広告について（群馬県医師会）

2. 医療関連職対策委員会

開催日：令和5年9月6日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名

〈議題〉

- (1) 医師会立看護師等養成所の認知度UPに向けて
- (2) その他

3. 准看担当者的会議

開催日：令和6年2月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名

- (1) 生徒募集について
- (2) 入学試験及び応募状況について
- (3) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について
- (4) 准看護師検定試験対策について
- (5) 学校運営について
- (6) 令和6年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (7) その他

4. 高看担当者会議

開催日：令和6年2月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名

- (1) 令和7年度入学試験の日程について
- (2) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について
- (3) 国家試験対策について
- (4) 学校運営について
- (5) 令和6年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (7) その他

5. 准看護師生徒募集

- (1) 准看護師生徒募集ポスター

令和5年度と同デザインの物で文字色を変更して作成し会員及び関係機関へ配布した。

- (2) 生徒募集広告

FM群馬にて看護学校に関するラジオ広告を放送し、周知徹底を図った。

6. 高看入試問題

医師会立看護師養成所2年課程の入学試験は、同日に統一問題にて実施している。入試問題の作成にあたっては、当番校を中心に「入試問題検討会」を2回実施した。

7. 群馬県医師会長賞

医師会立看護師等養成所の卒業生のうち各養成所から推薦された14名の優秀者に「群馬県医師会長賞」として賞状及び記念品を授与した。

8. 助産師養成について

群馬県における周産期医療崩壊を食い止める一助として開設した高崎市医師会看護専門学校助産学科の運営支援のため、各郡市医師会の協力を得て助成を行った。卒業生は、県内各所の周産期医療現場に就業し、第一線で活躍している。

9. 日本医師会認定医療秘書養成への支援

近年の医療事務の情報処理高度化に対応できる人材育成を行い、チーム医療を確保するため、日本医師会認定医療秘書養成の支援を行った。

- (1) 支援先への医療秘書講義に対する講師の派遣。7名実施。計15回。

第4. 介護保険・主治医研修事業

介護保険制度における主治医の役割を理解するとともに、要介護認定及び要支援認定における審査判定の重要な資料となる主治医意見書の記載が適切に行われるよう、令和5年度は群馬県との共催により本会で主治医研修会を開催した。

介護保険委員会では、郡市医師会相互の情報伝達、情報交換等を図った。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会介護保険部会、日本医師会第22回介護保険担当理事連絡協議会に参加した。

また、令和6年度の介護報酬改定に向けた介護報酬改定説明会を開催し、群馬県医師会のホームページにおいて公開した。

1. 主治医研修会

開催日：令和5年12月7日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：91名

- (1) 行政説明

演題：「主治医意見書について」

講師：群馬県健康福祉部介護高齢課 企画・介護保険係 間嶋みず江 係長

(2) 研修

演題：「かかりつけ患者のパーキンソン病を見落とさないために」

講師：藤岡多野医師会介護保険担当理事 相原優子 先生

2. 関東甲信越医師会連合会介護保険部会

開催日：令和5年10月1日 於：ホテル東日本宇都宮 出席者：35名

〈議題〉

(1) 施設医療について

(2) 人材確保について

3. 日本医師会第22回介護保険担当理事連絡協議会

開催日：令和6年3月7日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：3名

演題：「令和6年度介護報酬改定について」

講師：日本医師会 常任理事 江澤和彦 先生

4. 介護保険委員会（令和5年度2回開催）

第1回開催日：令和5年5月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：30名

〈検討事項〉

(1) 令和5年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会について

(2) 令和5年度主治医研修会の開催について

第2回開催日：令和6年1月24日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：27名

〈検討事項〉

(1) 令和5年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の報告について

(2) 来年度の委員会について

(3) マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する調査結果について

5. 令和6年度介護報酬改定説明会

開催日：令和6年3月28日 於：群馬ロイヤルホテル 出席者：28名

演題：「令和6年度介護報酬改定について」

講師：群馬県介護高齢課

第5. 産業衛生対策事業

1. 産業医研修会の開催

日本医師会認定産業医制度実施要領に基づき、指定カリキュラムの様々な研修会を県医師会主催、郡市医師会等との共催により実施した。

(1) 基礎前期研修会

開催日：令和5年10月8日・9日 於：群馬県医師会 出席者：19名

(2) 生涯更新専門研修会

開催日：令和5年11月12日 於：群馬建設会館 出席者：64名

演題：「産業医巡視の実践 ～事務所・工場・病院の場合～」

講師：群馬大学公衆衛生学 非常勤講師 藤田晴康 先生

演題：「職場のメンタルヘルス ～産業医の関わり方と今後の動向～」

講師：群馬大学健康支援総合センター 副センター長・教授 竹内一夫 先生

演題：「栄養から見た働く人のメンタルヘルス」

講師：群馬大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 教授 浜崎 景 先生

演題：「労災補償制度の概要・労災診療費算定基準について」

講師：群馬労働局労災補償課 地方労災医療監察官 木村優近 様

(2) 産業医実地研修会

ア. 作業環境測定実習

開催日：令和5年11月30日 於：群馬県医師会 出席者：40名

講師：群馬作業環境協議会

演題「簡易測定器を利用した作業環境管理について ～職場巡視時に活用できる簡易測定機器の操作及び測定実習～」

イ. 職場巡視

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 郡市医師会等との共催

実施回数：100回

2. 産業医申請手続き

産業医は「厚生労働省令で定める一定の要件を備えた者でなければならない」と労働安全衛生法で定められており、日本医師会産業医学基礎研修会修了者はこれに該当する。日本医師会認定産業医の申請は都道府県医師会を通じて日本医師会へ届出を行うため、令和5年度は新規33名、更新183名の申請手続きを行った。

3. 産業保健に関する会議等への出席

(1) 産業保健活動推進全国会議

開催日：令和5年10月19日 於：日本医師会（テレビ会議システム利用）

第6. 労災・自賠責保険対策事業

労災指定医療機関は、労災診療費の仕組みを理解し、労災診療費算定基準の適正な労災医療費の請求をしなければならない。労働者の業務上の災害並びに通勤災害による疾病・障害・死亡等に対して迅速かつ公正に保護するため、必要な保険給付を行う。併せて、労働者の早期社会復帰の促進、当該労働者及びその遺族の援護、労働者の安全及び衛生の確保等を図り、もって労働者の福祉の増進に寄与することを目的として、県医師会では労災・自賠責保険における各種情報収集・解析、審査基準・疑義解釈等を検討し、会員に向け周知を行った。

1. 自動車保険医療連絡協議会

年間8回開催

2. 労災保険医療説明会

開催日：令和5年11月12日 於：群馬建設会館

演題：「労災補償制度の概要・労災診療費算定基準について」

講師：群馬労働局労災補償課 木村優近 労災医療監察官

3. 自賠責研修会（WEB開催）

開催期間：令和5年9月1日～令和6年1月31日の間

(1) 学術講習

講師：市立秋田総合病院 整形外科 木村善明 先生

テーマ：「整形外科外傷診療」

(2) 自賠責講習

講師：損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター 深澤 泰 主管

テーマ：「自賠責保険（共済）のしくみ」

第7. 救急・災害医療対策事業

救急・災害医療対策事業については医療機関・群馬県・消防機関・その他関係する機関等と連携を図りながら救急医療に積極的な取り組みを行い、県民の安心・安全な生活に寄与した。

大規模災害発生時には迅速に災害医療体制を立ち上げ、整備を図り、災害対策基本法に基づき群馬県と指定地方公共機関が締結した「災害時の医療救護活動についての協定」、関東甲信越医師会との「大規模災害発生時における医療救護活動の確保に関する協定」に従い、災害発生時における救護所等への救護班の派遣等を行う。県医師会では救急災害が発生した場合、速やかに「群馬県医師会被災地医療支援実施本部」を設置することとしている。

平成29年度より開始した「五師会災害研修」に於いて、令和5年度より新たに「避難所での感染症対策の講義・実習」をプログラムに盛り込み開催した。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対して、県医師会が中心となり群馬県病院協会並びに郡市医師会協力のもと、17班延べ76名（ロジ派遣含む）がJMAT 群馬として石川県内で避難者の健康管理等に従事した。

1. 救急・災害医療対策委員会

開催日：令和6年3月7日 於：群馬県医師会（WEB 開催）

〈議題〉

- (1) 令和6年能登半島地震でのJMAT 群馬の対応について
- (2) 令和5年度 関医連救急災害部会（令和5年10月1日開催）の報告
- (3) 令和5年度 五師会災害研修の報告
- (4) 令和6年度 五師会災害研修の日程案について

2. 「救急の日」記念行事

※台風13号接近に伴う安全性を考慮し中止となった。

3. 群馬県救急医療懇談会

開催日：令和5年9月17日 於：群馬大学医学部基礎講義棟

4. 五師会災害研修

- (1) 第1回

開催日：令和5年9月3日 於：前橋赤十字病院 講堂 出席者：20名

- (2) 第2回

開催日：令和5年10月22日 於：前橋赤十字病院 講堂 出席者：21名

- (3) 第3回

開催日：令和5年11月23日 於：前橋赤十字病院 講堂 出席者：20名

5. 関東甲信越医師会連合会救急災害部会

開催日：令和5年10月1日 於：ホテル東日本宇都宮

〈議題〉

- (1) 働き方改革について
- (2) 新型コロナウイルス感染症について
- (3) 大規模災害について（JMAT 含む）

6. 医療機関が所有する井戸に関する調査

令和6年1月1日に発生した能登半島地震においても、これまでの地震発生時と同様に断水や停電などライフラインの途絶が問題となった。特に水道については復旧に時間を要し、災害時の生活用水の確保は喫緊の課題となっている。他県では井戸を所有する医療機関と自治体が提携し、災害時に近隣住民や市町村へ水を提供するための協定書を交わしている地域も見られている。いつどのような災害が発生するか予測できな

い時代の中で平時より災害に備えておくことは非常に重要であることから、本会では会員医療機関が所有する井戸の状況について調査を実施し、各地域における情報共有に努めた。

7. 日本医師会「JMAT 研修オプション研修（COVID-19編）」への出席

開催日：令和5年7月30日 於：日本医師会

8. 日本医師会「2023年度防災訓練（災害時情報通信訓練）」への出席

開催日：令和5年11月16日 於：群馬県医師会（WEB 開催）

9. 日本医師会 JMAT 研修

※ JMAT 研修基本編並びにロジスティクス編については、令和6年能登半島地震支援対応のため中止となった。

10. 令和6年能登半島地震での JMAT 群馬派遣

	派遣日程	派遣チーム	構成人数
	1月19日(金)～22日(月)	群馬県医師会（ロジ派遣）	1
	27日(土)～30日(火)	群馬県医師会（ロジ派遣）	1
	2月2日(金)～5日(月)	群馬県医師会（ロジ派遣）	1
第1班	10日(土)～12日(月)	群馬県医師会	4
第2班	21日(水)～23日(金)	希望館病院	4
第3班	29日(木)～3月2日(土)	鶴谷病院	5
第4班	3月2日(土)～5日(火)	公立富岡総合病院	6
第5班	8日(金)～11日(月)	上毛病院・前橋市医師会	3
第6班	17日(日)～20日(水)	真木病院①	5
第7班	20日(水)～23日(土)	仁静堂医院・高崎市医師会	3
	26日(火)～29日(金)	群馬県医師会（ロジ派遣）	1
第8班	29日(金)～4月1日(月)	真木病院②	5
第9班	4月4日(木)～7日(日)	須藤病院①	5
第10班	7日(日)～10日(水)	第一病院	3
第11班	10日(水)～13日(土)	須藤病院②	5
第12班	13日(土)～16日(火)	栗原胃腸科外科医院	3
第13班	16日(火)～19日(金)	公立碓氷病院	4
第14班	19日(金)～22日(月)	美原記念病院①	4
第15班	22日(月)～25日(木)	美原記念病院②	4
第16班	25日(木)～28日(日)	県立心臓血管センター	4
第17班	28日(日)～5月1日(水)	渋川地区医師会・嶋村接骨院（柔整師会）	5

第8. 群馬県医学会事業

1. 群馬県医学会

(1) 春季群馬県医学会

開催日：令和5年6月2日 於：群馬県医師会（WEB 配信同時開催） 出席者：112名

演題：「睡眠からアプローチする認知症予防」

講師：中部大学生命健康科学研究所 特任教授 宮崎総一郎 先生

(2) 秋季群馬県医学会

開催日：令和5年11月25日 於：群馬ロイヤルホテル（WEB 配信同時開催） 出席者：78名

研究発表：当日7発表題・誌上発表30題

ぐんまレジデントグランプリ2023グランプリ受賞者による発表

令和4年度生涯教育制度高単位取得者の表彰

〈群馬大学特別講演 北関東医学会推薦〉

演題：「安全で効率的な大腸がん予防」

講師：群馬大学医学部附属病院光学医療診療部 竹内洋司 先生

〈特別講演〉

演題：「スポーツ医学における多職種連携」

講師：順天堂大学医学部スポーツ医学研究室 高澤祐治 先生

2. 「群馬医学」雑誌

117号（特別講演号）を2,980部、118号（一般講演号）を2,890部作成し、会員並びに関係先へ配布した。

第9. がん対策事業

群馬県からの委託事業として、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき、がん検診に従事する医師等の技術向上を図る目的で、最新の医療情報を提供するため講習会を開催した。同様に群馬県からの委託事業として、がん検診受診体制を整備する目的で、医療機関への調査を実施した。

群馬県がん登録事業では、群馬県がん対策推進条例に基づいた事業の実施に協力し、また広報活動を支援するとともに多くのがん情報収集の推進に努めた。

また、がん対策に関する多くの会議・協議会に出席し関係機関と連携を図った。

ハイブリッド開催（WEB 視聴・会場視聴）で下記講習会を開催した。

1. がん検診等従事者講習会

(1) 胃内視鏡検診従事者講習会

ア. 開催日：令和6年2月9日 於：群馬県医師会 出席者：50名

演題：「胃内視鏡検診発見がん症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所 院長 茂本文孝 先生

イ. 開催日：令和6年3月16日 於：群馬県医師会 出席者：55名

シンポジウム

テーマ：「地域の胃内視鏡検診の現況と将来」

シンポジスト：たなか内科消化器科クリニック 院長 田中 大 先生

正田病院

医局長 藤田欣一 先生

川場診療所

院長 白井 告 先生

演題：「悪性疾患と鑑別を要する胃良性疾患および自己免疫性胃炎について」

講師：藤枝市立総合病院 副院長 丸山保彦 先生

(2) 大腸がん検診従事者講習会

開催日：令和6年2月2日 於：群馬県医師会 出席者：59名

演題：「内視鏡による大腸がんスクリーニングとサーベイランスの最新エビデンス」

講師：東邦大学医療センター大森病院消化器内科 主任教授 松田尚久 先生

(3) 肺がん検診読影従事者講習会

開催日：令和6年3月5日 於：群馬県医師会 出席者：82名

演題：「当院での肺がん検診精査の現状（精査後の経過も含めて）」

講師：群馬県済生会前橋病院 呼吸器内科 代表部長 宇津木光克 先生

(4) がん細胞診・組織診従事者講習会

ア. 開催日：令和5年9月16日 於：Gメッセ群馬 出席者：269名

演題：「肺がんにおける遺伝子検査・バイオマーカー検査」

講師：国立がん研究センター中央病院 病理診断科 教授 谷田部 恭 先生

演題：「女性ホルモンと細胞 一婦人科疾患との関わり」

講師：群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座 教授 岩瀬 明 先生

演題：「脳腫瘍の組織判断と細胞診」

講師：群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野 教授 横尾英明 先生

演題：「免疫組織科学の精度管理と最近の新規抗体」

講師：神戸大学医学部附属病院病理部 病理診断科 教授 伊藤智雄 先生

(5) 子宮がん検診細胞診従事者講習会

開催日：令和6年1月13日 於：群馬県医師会 出席者：42名

演題：「HPV 検査単独法の導入を見据えた子宮頸がん検診について」

講師：杏林大学医学部 産婦人科学教室 准教授 森定 徹 先生

(6) 乳がん検診従事者講習会

開催日：令和5年10月17日 於：群馬県医師会 出席者：19名

演題：「超音波併用乳癌検診」

講師：独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 横江隆夫 先生

(7) 胃がん検診読影従事者講習会

開催日：令和5年12月15日 於：群馬県医師会 出席者：36名

演題：「X線胃がん検診発見症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所 院長 茂本文孝 先生

第10. 老人保健・認知症対策事業

高齢者が日頃から受診する医療機関の主治医を対象に、適切な認知症の診療の知識や技術、認知症患者とその家族を支える方法等を習得するための研修会を群馬県との共催で開催した。

一方、特定健診・特定保健指導については健診の相互乗り入れと健診項目及び料金の統一に向け、郡市医師会を通じて市町村国保の集合契約への参加を呼びかけた。

1. 認知症専門医及び認知症サポート医フォローアップ研修

開催日：令和6年3月21日 於：群馬県庁（WEB開催） 出席者：33名（医師）

演題：「認知症サポート医に必要な診療に関する最新の話題」

講師：群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学 教授 池田佳生 先生

2. 認知症サポート医養成研修事業

厚生労働省が実施する「認知症サポート医養成研修事業」には、認知症に関する地域の牽引役になってい

ただける医師11名を推薦し、受講いただいた。研修を修了した医師には、今後地域においてかかりつけ医を対象とした認知症対応力の向上を図るための研修の企画立案、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役、アドバイザーとなる他、認知症サポート医（推進医師）との連携体制の構築、各地域医師会と地域包括支援センターとの連携づくりへの協力の役割を担っていただく。

第11. スポーツ医事業

1. 研修会開催

日本医師会認定健康スポーツ医制度の実施要領に基づき、他団体と共催で健康スポーツ医を対象に更新研修会を開催した。

- (1) 開催日：令和5年4月15日 於：群馬大学医学部附属病院アメニティー講義室
演題：「足のスポーツ障害」
講師：善衆会病院 群馬スポーツ医学研究所 所長 柳澤真也 先生
演題：「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」
講師：社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所 所長 荒川浩一 先生
共催：群馬県スポーツ協会
- (2) 開催日：令和6年3月26日 於：桐生メディカルセンター
演題：「運動負荷試験と運動処方の基本」
講師：群馬県立心臓血管センター 副院長 安達 仁 先生
共催：桐生市医師会

2. 申請手続き

日本医師会認定健康スポーツ医の新規・更新手続きを行った。

令和5年度対象者：新規3名 更新21名

第12. 緩和ケア対策事業

「がん対策基本法」の基本的施策の一つに「がん医療の均霑化の促進等」が定められており、「がん対策推進基本計画」においては、重点的に取り組むべき課題として「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」が掲げられ、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」が個別目標として明記されている。「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」を図ることを目的に、これまでに「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会開催指針」に基づく緩和ケア研修会の開催を支援した。

第13. 勤務医対策・女性医師支援事業

女性医師に対する育児支援等で離職を防ぎ、県内における医師確保を進めることや、家庭と仕事の両立ができるように医師の就労環境を整備していくには、男女共同参画とワークライフバランスの理解や周知が不可欠である。それらを目的に、医学生・研修医等をサポートするための会を開催した。また、勤務医委員会を開催し、医師の働き方改革を中心とした、勤務医に関わる情報の伝達・交換、問題点の議論を行った。

1. 勤務医委員会

開催日：令和6年2月5日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：14名

〈議事〉

- (1) 令和5年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会（令和5年5月24日開催）の報告について
- (2) 令和5年度全国医師会勤務医部会連絡協議会（令和5年10月7日開催）の報告について
- (3) 「医師の働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査」について

- (4) 「医師の働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査（制度開始直前調査）」について（協力方依頼）

2. 医学生・研修医等をサポートするための会

開催日：令和5年10月2日 於：群馬大学昭和キャンパス医学科 臨床大講堂 出席：115名
〈プログラム〉

(1) 群馬県医師会の活動紹介

講師：群馬県医師会 理事 今泉友一 先生

(2) パネルディスカッション「教えて、先輩！ ～ワーク・ライフ・バランスを考えよう～」

パネリスト：群馬大学医学部附属病院 検査部 講師 常川勝彦 先生

群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学講座 准教授 佐藤浩子 先生

群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座 教授 田中和美 先生

3. 勤務医・女性医師支援に関する協議会等への出席

(1) 令和5年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

開催日：令和5年5月24日 於：日本医師会（WEB開催）

協議：①医師会の組織強化に向けて

②医師の働き方改革について

(2) 第17回男女共同参画フォーラム

開催日：令和5年5月27日 於：都ホテル四日市

テーマ：「医師の働き方改革に寄与する男女共同参画を目指して」

(3) 令和5年度全国医師会勤務医部会連絡協議会

開催日：令和5年10月7日 於：ホテル青森

テーマ：「2024年、変わる勤務医、輝く勤務医」

(4) 令和5年度女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

開催日：令和5年10月21日 於：ANA クラウンプラザホテル新潟

第14. 医師会病院事業

リハビリテーション専門病院として、機能の充実を図るとともに、医師、療法士、看護師等の技術の向上とその育成、さらに患者の立場に立った魅力ある・選ばれる病院を目指し管理運営に取り組んだ。そして、「病院あり方検討委員会」からの病院移転が望ましいとの答申を受け、引き続き移転について「院内病院あり方検討委員会」にて協議を重ねるとともに、「群馬県医師会将来ビジョン検討委員会群馬リハビリテーション病院分科会」に於いても検討を行った。

また、中之条町から委託された業務「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の管理運営を円滑に進め、医療・介護ともに質の向上と人材育成に力を注いだ。

1. 入院の状況

(1) 令和5年度の新規入院患者は506名、前年度に比べ23名の減であった。

(2) 年齢は70歳以上68.6%、60歳代15.2%、50歳代7.7%、その他の年代が8.5%である。

(3) 病類別は循環器系が全体の40.1%、筋骨格系が19.6%、その他の疾病は40.3%である（詳細は表2の資料のとおり）。

2. 病院運営

毎月の定例会長会議後に病院運営委員会を開催しており、また、県医師会理事会においても毎月2回の協議をもっている。

3. 職員の状況（令和6年3月31日現在：非常勤・パート除く）

(1) 医師	6名	(3) 看護部門	
(2) 診療部門		看護師関係	98名
薬剤師	2名	(4) リハビリ部門	
放射線技師	1名	リハビリ関係	102名
臨床検査技師	4名	(5) 事務部門	
管理栄養士	4名	事務関係	24名
事務関係	10名	(6) 老健部門	
		老健施設関係	50名
合計		301名	

4. 令和5年度看護師、療法士等の採用状況並びに異動状況

新規学卒採用者		異動者（県内他施設へ就職）	
看護師	1名	看護師	2名
准看護師	0名	准看護師	1名
PT	3名	PT	3名
OT	2名	OT	2名
ST	2名	ST	1名
合計 8名		合計 9名	

5. 看護及びリハビリ関係研修生受け入れ状況

看護：専門学校4校から98名の研修生を受け入れた。

リハビリ：大学8校、専門学校5校からPT24名、OT21名、ST6名合計51名の研修生を受け入れた。

6. 受託事業の現況

(1) 介護老人保健施設受託業務

「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の施設療養業務は、群馬リハビリテーション病院から出向した61名の人員により運営されている。

令和5年度の新規入所者数は66名で、1日平均の在所者数は74.2名であった。デイケアは1日平均20.1名の利用者があった。

施設規模は、入所定員100名（一般棟50名、認知専門棟50名）、通所定員30名である。

令和5年度「群馬リハビリテーション病院」入院患者の状況

表1 地区別入院患者数

郡市別	計	%
前 橋	36	7.5
高 崎	36	7.5
桐 生	10	2.1
伊 勢 崎	22	4.6
太 田	5	1.0
沼 田	18	3.7
館 林	1	0.2
渋 川	44	9.2
藤 岡	5	1.0
富 岡	4	0.8
安 中	10	2.1
み ど り	9	1.9
佐 波	3	0.6
北 群 馬	13	2.7
多 野	0	0.0
甘 楽	2	0.4
吾 妻	247	51.4
利 根	12	2.5
邑 楽	4	0.8
合 計	481	100.0

※県外別入院患者数

都 県 別	計	%
東 京	3	12.0
埼 玉	16	64.0
栃 木	0	0.0
神 奈 川	0	0.0
千 葉	0	0.0
茨 城	1	4.0
そ の 他	5	20.0
合 計	25	100.0

*506人 県内481人 95.1%
県外 25人 4.9%

表2 病類別入院患者数

病類別	計	%
0 神経系、感覚器疾患	22	4.3
1 循環系疾患（2を除く）	2	0.4
2 （同上）脳血管疾患	201	39.7
3 呼吸系疾患	0	0.0
4 消化系疾患	0	0.0
5 筋骨格系結合組織疾患 （6を除く）	97	19.2
6 （同上）リウマチ性疾患	2	0.4
7 損 傷	169	33.4
8 そ の 他	13	2.6
合 計	506	100.0

〔ICD分類による〕

表3-1 性別・年齢別入院患者数

年 齢 層	男	女	計	%
9 歳 以下	0	0	0	0.0
10歳～19歳	3	0	3	0.6
20歳～29歳	6	0	6	1.2
30歳～39歳	10	0	10	2.0
40歳～49歳	20	4	24	4.7
50歳～59歳	33	6	39	7.7
60歳～69歳	38	39	77	15.2
70歳～79歳	75	61	136	26.9
80 歳 以上	72	139	211	41.7
合 計	257	249	506	100.0

表3-2 性別・年齢別（65歳以上・未満）入院患者数

	男	女	計	%
65歳未満	86	25	111	21.9
65歳以上	171	224	395	78.1
合 計	257	249	506	100.0

Ⅱ 地域保健医療推進の向上を目的とする事業

第1. 感染症・予防接種対策事業

感染症への対応は、情報の迅速な伝達、関係者相互の情報共有が重要である。国及び日本医師会からの最新の感染症情報を速やかに医療機関に伝えることは、感染症の流行を最小限に止めるために重要であり、県医師会ではメーリングリスト等を活用し迅速な情報提供に努めている。

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に世界中に広がり、これまで世界各地で流行の波を繰り返してきた。令和5年5月8日に2類感染症から5類感染症に移行した後も、未だ病院や老人施設でのクラスターも散見されている。県医師会では、本県における感染拡大による病床確保や医療崩壊を防ぐべく、群馬県感染症対策連絡協議会や群馬県との連携を密にし、県医師会感染症・予防接種対策メーリングリスト等を活用し迅速な情報提供を図るとともに、各地域における医療体制の構築に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、接種業務に従事する関係者の情報共有が重要であることから現場の接種業務がスムーズに実施されるよう、新型コロナウイルスワクチン関係の通知等に関しては引き続き「新型コロナウイルスワクチン第〇報」として郡市医師会へ周知を行った。また、必要に応じて郡市医師会担当役員を対象とした説明動画を配信することで更なる情報共有に努めた。

1. 宿泊療養施設への医師派遣

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行した令和5年5月8日まで、新型コロナウイルス感染者の増加に伴う病院の負担の軽減並びに空き病床を確保するため、郡市医師会ご協力のもと宿泊療養施設（前橋ホテル）に入居する軽症者、無症状者の健康管理を行う医師を派遣した。

2. 郡市医師会担当理事対象新型コロナウイルスワクチンに関する説明会（動画配信）

令和5年4月から令和6年3月までの間で計5回、郡市医師会担当理事を対象に動画配信による説明会を開催した。新型コロナウイルスワクチン接種について、各配信時期の課題や国の情報に関して群馬県の担当者より説明いただくことで関係者相互の情報共有に努めた。動画配信による説明会は今後も必要に応じて継続して行う予定である。

3. 新型インフルエンザ等感染症、指定感染症または新感染症に係る医療を提供する体制の確保に必要な措置に関する協定（医療措置協定）説明会の開催

新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向け、群馬県と医療機関が締結する「医療措置協定」の円滑な締結に向けて、日医での説明会に出席するとともに、郡市医師会担当理事を対象とした説明会を開催した。

（1）日本医師会主催 改正感染症法等に基づく協定に関する協定に関する説明会

- ①第1回 令和5年8月24日 ハイブリッド開催
- ②第2回 令和6年1月23日 ハイブリッド開催

（2）群馬県医師会主催 医療措置協定に関する説明会

- ①第1回 令和5年12月14日 群馬県医師会「大ホール」
- ②第2回 令和6年2月8日 ハイブリッド開催

4. 群馬県医師会梅毒診療講演会

近年、性感染症である梅毒の報告者数が急増していること、また梅毒については皮膚科、産婦人科、泌尿器科のみでなく、各診療科が念頭におくべき疾患であることから日本性感染症学会との共催により梅毒診療講演会を開催した。

開催日：令和5年10月12日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：133名

演題：「梅毒の診断と治療」

講師：一般社団法人日本性感染症学会理事長

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座教授

一般社団法人北海道医師会常任理事 高橋 聡 先生

5. 感染症発生動向調査

会員の協力のもと、感染症発生動向調査における全数把握と定点把握調査について報告を行い、県において取りまとめられた調査結果について、郡市医師会長会議及び県医師会ホームページを通じて会員に情報提供することにより、感染症の発生動向把握の一翼を担っている。

6. 流行性疾患患者通報業務

群馬県からの受託事業として、全会員の協力のもと麻しん及び風しん疑い患者を診察した場合には、所属郡市医師会を通じ県医師会へ報告をいただいている。会員からの報告については県医師会で取りまとめ、週1回のペースで県に報告するとともに、県医師会ホームページを通じて会員へ情報提供を行っている。この事業により麻しん・風しんの流行を迅速に察知し、早期に対応できるよう体制づくりがなされており、医療現場の臨床に役立つよう努めた。

7. 風しん抗体検査事業

風しんの感染予防やまん延防止のために、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するとともに、県民の風しん予防に対する意識の向上を図ることを目的として、平成26年度より群馬県並びに前橋市、高崎市において本事業が実施されている。令和5年度においても本会では前記三者と委託契約を締結し、県内相互乗り入れでの事業実施に努めた。

8. 風しんの追加的対策事業

風しんの発生状況等を踏まえ、風しんの感染拡大防止を目的として、現行の対策に加え、平成31年～令和3年度末までの約3年間をかけ、特に抗体保有率が低い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、全国で原則無料にて抗体検査及び予防接種を行う事業が行われてきた。本事業は更に3年間延長となり、現在も継続されているところである。本会では、日本医師会並びに群馬県からの情報等について郡市医師会との情報共有に努めるとともに、全国の市町村が全国の医療機関・健診機関に対して本事業の実施を委託する集合契約に関する協力医療機関の取りまとめを行い契約を締結、集合契約締結後の実施医療機関の更新についても定期的に実施している。

9. 群馬県内相互乗り入れ予防接種

(1) 群馬県内相互乗り入れ予防接種（定期）

定期予防接種の対象ワクチンについて、住所地市町村外における接種を円滑に実施し、住民の利便性を図ることを目的に平成15年度より県医師会長と県内市町村長の契約のもと本事業を実施している。令和5年度における相互乗り入れ予防接種協力医療機関は1,148件、接種実施数は38,389件であった。

(2) 群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種

「群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種実施要領」を定めることにより、任意予防接種についても被接種者並びに接種医師が安心して予防接種業務を実施できる体制の確保に努めた。

第2. 群馬県地域医療介護連携感染予防・対策事業

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスターについては、死亡者や感染者の規模が大きく、高齢者施設等における感染症予防・対策の徹底が極めて重要である。

本会では、地域において医療と介護との連携により、高齢者施設等における感染症の拡大をあらかじめ防止し、その対策を講ずるため、郡市医師会が中心となって感染症の専門知識を有する者を高齢者施設等に派遣する等の取り組みを支援した。

1. 郡市医師会の依頼を受け、高齢者施設等へ感染症対策連絡協議会員等の派遣調整補助

事業全体の派遣人数（延べ）26件中、感染症対策連絡協議会員の派遣19件を調整

2. 高齢者施設へ感染症対策連絡協議会員等を派遣

事業全体の派遣人数（延べ）26件中、感染症対策連絡協議会員の派遣2件を実施

第3. 精度管理事業

臨床検査精度管理事業は群馬県臨床検査精度管理協議会が実施主体となり事業を実施している（協議会は県医師会、群馬県、群馬県臨床検査技師会、群馬大学で構成）。

令和5年度（第38回）群馬県臨床検査精度管理調査は、275施設の参加を得た。実施項目は一般、血液、臨床化学、免疫血清、微生物、輸血、細胞診、生理機能の8項目であった。

9月上旬に検体を配布し、各施設で検査を実施した。回答を回収した後、データの解析・評価を行い、年度末に報告会を開催した。

また、検査の施設間差是正を目的とした臨床検査値標準化事業を実施しており、令和5年度は8項目（AST、ALT、LD、ALP、CK、 γ -GTP、AMY、ChE）、総コレステロール、中性脂肪と特定健診の項目のHDL-コレステロール並びにLDL-コレステロール、を対象項目に標準化事業を群馬大学の協力のもと行った。

1. 会議等の開催

- | | | | |
|------------|---------------|------------|---------|
| (1) 協議会 | 開催日：令和5年6月19日 | 於：群馬県医師会 | 出席者：10名 |
| (2) 第1回打合せ | 開催日：令和5年5月23日 | 於：群馬県医師会 | 出席者：6名 |
| 第2回打合せ | 開催日：令和6年2月13日 | 於：群馬県医師会 | 出席者：6名 |
| (3) 報告会 | 開催日：令和6年2月26日 | 於：群馬公社総合ビル | 出席者：72名 |

第4. 学校保健対策事業

学校医が学校保健活動を円滑に進めるためには、多様化する様々な問題に対応しなければならない。そのために県医師会では関係機関と連携を図り、下記のとおり事業を展開した。

1. 学校保健委員会（書面会議）

〈議題〉

- (1) 令和5年度群馬県学校医会総会について
- (2) 第72回群馬県学校医研究大会（令和6年度）における研究発表について

2. 児童・生徒腎臓検診判定小委員会

開催日：令和6年3月5日 於：群馬県医師会 出席者：13名

〈議題〉

- ア. 令和5年度児童生徒腎臓・糖検診の結果について
- イ. 令和5年度児童生徒腎臓検診の不適切事例について
- ウ. 令和6年度における学校検尿の腎臓・糖尿三次検診病院について

3. 「学校における食物アレルギー対応マニュアル（令和5年度改訂）」の発行

平成25年度に群馬県教育委員会との協力により作成した「学校における食物アレルギー対応マニュアル」について内容の見直しを行い、改訂版として発行した。改訂版についても前回のマニュアルと同様に冊子として発行し、学校医並びに関係機関への配布を行うことにより、学校現場において食物アレルギーを有する子どもたちへの対応が適切に行われるよう努めた。

4. 群馬県学校医会総会（書面会議）・群馬県学校医研究大会

開催日：令和6年3月23日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：52名

研究発表：「生徒の生活習慣とメディアの関係」

講師：長野原町へき地診療所所長 金子 稔 先生

特別講演1：「妊娠・中絶・性暴力の現状を産婦人科医から」

講師：群馬県医師会理事・産科婦人科館出張佐藤病院院長 佐藤雄一 先生

特別講演2：「子どもを性暴力から守る ～私たち大人がすべきこと～」

講師：警察大学校特別捜査幹部研修所長（前群馬県警察本部長） 小笠原和美 様

5. 学校保健に関する大会、協議会等への出席

- (1) 令和5年度関東甲信越静学校医協議会

開催日：令和5年8月3日 於：ロイヤルパインズホテル浦和

- (2) 第54回全国学校保健・学校医大会

開催日：令和5年10月28日 於：神戸ポートピアホテル南館・ポートピアホール

- (3) 令和5年度学校保健講習会

開催日：令和5年4月2日 於：日本医師会（WEB開催）

- (4) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会

開催日：令和6年1月17日 於：日本医師会（WEB開催）

第5. 児童・生徒心臓検診事業

群馬県教育委員会が定める「児童生徒健康管理対策実施要綱」により、県医師会及び群馬県健康づくり財団が群馬県・市町村・私立学校と受託契約を行い、本事業を実施した。県医師会は判定委員会を組織し、一次検診結果を基に総合判定を行い、委託者に検診結果を報告した。

また、小委員会を開催し検診結果のデータ分析を行うとともに児童生徒心臓検診の課題について検討した。さらにオンラインにて学校心臓検診講習会を開催し、二次検診の重要性についての啓蒙に努めた。

心臓検診の二次検診については、従来、公的病院に限定して実施してきたところであるが、二次検診医療機関の拡充を望む声も多く、該当児童生徒の利便性と医師の負担軽減のため、二次検診実施施設の条件を提示したうえで条件をすべて満たし、かつ協力いただける医療機関を診療所も含め募ることとした。令和5年度より新規医療機関も含めた心臓二次検診医療機関として実施された。さらに拡充から1年が経過することに伴い、今後の学校心臓検診の充実を図ることを目的として、令和5年度に手上げいただいた二次検診実施医療機関を対象にアンケート調査を実施した。

1. 児童・生徒心臓検診判定委員会

令和5年5月11日20名、5月18日19名、5月25日14名、6月1日18名、6月8日25名、6月15日25名、6月22日21名、6月29日20名、7月11日22名、9月28日8名、10月19日12名、11月9日11名の計12回、小学1年生、中学1年生、高校1年生及び一部の小学4年生（前橋市、高崎市、桐生市、みどり市、伊勢崎市、太田市、渋川市、藤岡市、安中市、沼田市、館林市、玉村町、吉岡町、榛東村、上野村、下仁田町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、草津町、片品村、昭和村、みなかみ町、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、大泉町、特別支援学校）の心臓検診の判定を行った。実施人数は61,354名で、そのうち要三次検診が6名、要二次検診が1,544名、要定期検診が1,136名、健康注意が594名、異常なしが58,074名であった。

2. 児童・生徒心臓検診判定小委員会

開催日：令和6年3月11日 於：群馬県医師会 出席者：13名

〈議題〉

ア. 令和5年度児童生徒心臓検診の結果について

イ. 最近の突然死等の状況について

- ウ. 児童生徒健康管理対策実施要綱の一部改正について
- エ. 令和5年度児童・生徒心臓二次検診実施医療機関を対象としたアンケート調査について
- オ. 令和6年度児童・生徒心臓二次検診実施医療機関について
- カ. 令和6年度児童・生徒心臓検診判定委員会の開催日程について

3. 学校心臓検診講習会

開催日：令和5年7月26日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：104名

- (1) 演題：「学校心臓検診2次検診のポイント」

講師：群馬県立小児医療センター 第3内科部長

児童・生徒心臓検診判定委員会委員長 池田健太郎 先生

- (2) 演題：「PHR時代の学校心臓検診 ―課題と展望―」

講師：京都大学大学院医学系研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野教授 石見 拓 先生

第6. へき地学校巡回検診事業

日頃、専門医を受診する機会に恵まれないへき地地域の学童を対象に眼科・耳鼻科の検診を実施し、疾患の早期発見及び疾病の重症化を予防するとともに児童生徒の健康管理を行った。

行政との契約に関する書類作成（検診結果取りまとめ等の実績報告）、出勤に向けての打ち合わせ、出勤医師及び学校との調整、関係機関等への各種通知、検診時の使用器具の準備（消毒作業等）のうえ、下記のとおり事業を実施した。

1. へき地学校巡回検診

- (1) 令和5年9月21日 高山村立高山小学校・高山村立高山中学校
- (2) 令和5年9月27日 片品村立片品小学校・片品村立片品中学校
- (3) 令和5年10月12日 草津町立草津中学校
- (4) 令和5年10月19日 中之条町立六合小学校・中之条町立六合中学校
- (5) 令和5年11月1日 みなかみ町立藤原小学校
- (6) 令和5年11月16日 草津町立草津小学校
- (7) 令和5年11月30日 上野村立上野小学校・上野村立上野中学校

第7. 母子保健・小児保健対策事業

群馬県・市町村・保健福祉事務所等が実施する保健事業に積極的に協力し、各種健診を通じ地域住民の母子保健・小児保健に対する正しい知識の普及に努めている。

平成31年4月より市町村から委託を受けている新生児聴覚検査事業と産婦健康診査事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和5年4月から令和6年3月までの新生児聴覚検査の取扱いは、9,949件、産婦健康診査の取扱いは15,710件であった。

1. 小児保健に関する講演会

県医師会員並びに養護教諭・幼稚園教諭・保育士等を対象に講演会を開催した。

開催日：令和5年11月15日 於：群馬ロイヤルホテル（ハイブリッド開催） 出席者：76名

演題：「気のせいではない 子供のお腹の病気」

講師：群馬大学大学院医学系研究科小児科学講師 石毛 崇 先生

2. 群馬県内統一母子健康手帳検討事業

令和6年度に発行される県内統一の母子健康手帳について、検討会議委員により内容の検討を行った。さらに母子健康手帳の群馬県オリジナル部分について、令和7年度版より大幅リニューアルを予定していることから集合形式での検討会議を開催し、掲載内容や今後の方針について検討した。

(1) 母子健康手帳県内統一化検討会議

開催日：令和5年7月6日 於：群馬県医師会 出席者：10名

〈議題〉

ア. 母子健康手帳別冊のリニューアルについて

3. 母子保健に関する講演会等への出席

(1) 令和5年度母子保健講習会

開催日：令和6年2月18日 於：日本医師会

第8. 有床診療所事業

有床診療所を取り巻く諸問題に対して群馬県有床診療所協議会と連携し、迅速かつ適切な対応を行っている。県医師会担当理事が同協議会の役員に就任し、県医師会との関係を密にし諸問題に対応している。令和5年度は医療安全対策研修会を群馬県有床診療所協議会と共催で開催した。

また、全国の有床診療所の情報交換の場である、全国有床診療所連絡協議会総会は、福島県有床診療所協議会の担当により福島市において開催され、本県からは本会の小中理事・猿木参与が参加した。

1. 役員会

開催日：令和5年10月3日 於：ホテルサンダーソン

議事

(1) 令和4年事業報告及び決算（案）

(2) 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）

2. 第36回全国有床診療所連絡協議会総会

開催日：令和5年9月2日～3日 於：福島市 奥飯坂穴原温泉 吉川屋

メインテーマ：「将来を見据えた有床診療所のありかた ～認知度の向上と地域医療への貢献～」

特別講演：

演題：「最近の医療情勢とその課題」

講師：日本医師会 会長 松本吉郎 先生

3. 総会・講演会

開催日：令和5年12月16日 於：ホテルラシーネ新前橋

議事

(1) 令和4年度事業報告並びに決算（案）

(2) 令和4年度監査報告について

(3) 令和5年度事業計画（案）並びに予算（案）

報告事項

講演会（群馬県有床診療所協議会との共催）

開催日：令和5年12月16日 於：ホテルラシーネ新前橋 出席者：46名

演題：「医療事故調査制度および医療安全対策の現状と日本医師会の取り組み」

講師：日本医師会常任理事 細川秀一 先生

4. 令和5年度有床診療所の日記念講演

開催日：令和5年12月3日 於：日本医師会館・Web 開催

第9. 福祉医療事業

福祉医療費補助金制度の仕組みを理解し、医療機関が円滑に請求事務を行うため、「福祉医療費補助金制度取扱要領」を1,630部作成した。郡市医師会を通じ、全会員の医療機関に配付し制度の周知を図った。

第10. 共同利用施設対策事業

地域医療のネットワークの中核として、また地域住民の健康状態を把握し地域の実情に即した形で地域医療の向上を図るため、また、県医師会・郡市医師会が運営・管理を行う共同利用施設（病院、老人保健施設、訪問看護ステーション、健診センター、臨床検査センター、医師会立看護師等養成所等）の運営実態や抱えている課題の把握・改善に努め、地域医療の充実を図る。

令和5年度は関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会並びに第30回全国医師会共同利用施設総会へ出席するとともに、本会が担当となる第31回全国医師会共同利用施設総会の打合せ、候補会場の視察を行った。

1. 関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会

開催日：令和5年9月2日 於：甲府記念日ホテル

テーマ：「働き方改革施行を控えての救急医療センター運営のあり方」

特別講演：

演題：「ブドウ畑の空に乾杯 ―山梨から世界に羽ばたくワインを作る取り組み―」

講師：Kisvin ワイナリー醸造責任者／ワイン醸造家 斉藤まゆ 様

2. 第30回全国医師会共同利用施設総会

開催日：令和5年9月9日～10日 於：岡山コンベンションセンター

メインテーマ：「次世代に託す医師会共同利用施設の使命

～かかりつけ医機能と医療・保健・介護・福祉の充実～」

特別講演：

演題：「中央情勢報告」

講師：日本医師会 会長 松本吉郎 先生

第1分科会：医師会病院関係

第2分科会：検査・健診センター関係

第3分科会：介護保険関連施設関係

第11. 在宅医療事業・地域包括ケアシステム事業

在宅医療の普及および振興に努め、安心して在宅で療養生活ができるよう、医療分野から支援している。

地域包括ケアシステム委員会では、郡市医師会相互の情報伝達、情報交換等を図った。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会、在宅医療関連講師人材養成事業に参加した。

1. 地域包括ケアシステム委員会（令和5年度2回開催）

第1回開催日：令和5年5月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：30名

〈検討事項〉

(1) 令和5年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会について

(2) 令和5年度地域包括ケア担当者会議（令和5年4月21日開催）について

(3) 令和4年度医療的ケアを要する小児等の実数調査のとりまとめ結果について

第2回開催日：令和6年1月24日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：27名

〈検討事項〉

(1) 令和5年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の報告について

(2) 日本地域包括ケア学会第5回大会（令和5年12月17日開催）の報告について

2. 関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会

開催日：令和5年10月1日 於：ホテル東日本宇都宮 出席者：35名

〈議題〉

- (1) 医療介護連携拠点のあり方について

3. 令和5年度在宅医療関連講師人材養成事業

開催日：令和6年1月21日 於：群馬県庁（WEB開催） 出席者：8名

〈議題〉

- (1) 「在宅医療に必要な連携を担う拠点」の現状について
(2) 「在宅医療に必要な連携を担う拠点」を活用してできることについて
(3) グループワーク、結果共有

4. 高齢者ケア専門研修 介護者のための医学的基礎知識講座への講師派遣

- (1) 第1回

開催日：令和5年7月13日 於：明風園 出席者：30名

演題：「高齢期の特徴と疾患の理解」

講師：群馬県医師会理事 小中俊太郎 先生

- (2) 第2回

開催日：令和5年11月30日 於：明風園 出席者：30名

演題：「高齢期の特徴と疾患の理解」

講師：群馬県医師会理事 小中俊太郎 先生

第12. 妊婦健康審査事業

平成9年4月より市町村から委託を受けている妊婦健診事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和5年4月から令和6年3月までの取扱いは、115,512件（そのうち37件は多胎妊娠の妊婦健診）であった。

第13. 脳卒中对策事業

脳卒中の地域医療連携のため、郡市医師会の協力を得て県内の計画管理病院と連携する医療機関の体制整備や、地域連携診療計画の情報交換を行うための「脳卒中医療連携の会」本会議の開催に対し協力を行った。

1. 群馬脳卒中医療連携の会本会議

- (1) 第41回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和5年4月25日 於：WEB開催 出席者：233名

- (2) 第42回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和5年7月25日 於：WEB開催 出席者：239名

- (3) 第43回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和6年1月30日 於：前橋市総合福祉会館 出席者：206名

第14. 広報活動事業

1. 広報・会報編集委員会

開催日：令和5年6月8日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：13名

〈議題〉

- (1) 令和4年度の報告について
(2) 令和5年度の広報活動について
ア. 上毛新聞「突き出し広告」について
イ. 上毛新聞「元気+らいふ」コーナー（困っていませんか）について
ウ. 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会の報告について

2. 上毛新聞

(1) 突き出し広告

毎月第2、第4火曜日に、県民の公衆衛生の向上を図る医療情報を掲載した（年24回）。

(2) 元気+らいふ「困っていませんか」

偶数月号に、病気に関する解説を掲載した（年6回）。

第15. 地域医療資料館運営事業

地域医療資料館は、日本医史学会監事蔵方宏昌先生のご指導及び協力を得て運営しており、医療関連資料の展示並びに企画展示を開催している。令和5年度は、ヒポクラテスをテーマに企画展示をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっている。

また、郡市医師会及び各医療機関の協力をいただき、収集整理した医学書・医療器械を同時に展示している。

第16. 臓器移植

臓器移植は、臓器の機能が低下し移植でしか治療ができない人と、死後に臓器を提供してもよいという人を結ぶ医療である。国内で臓器提供を待っている人は約14,000人で、そのうち移植を受けられる人は年間300人程度と、諸外国と比べ極端に少ない。こうした現状に鑑み、臓器提供意思表示カードの普及を始め、臓器移植に関する周知並びに啓発活動を行うことで、県民のニーズに応えた医療の提供を目指す。

県民が健全な日常生活を営むためにも、臓器不全予防の重要性を啓発するとともに、県内各地域において、関係機関の協力により臓器移植体制の整備・強化を図った。

第17. 院内感染地域支援ネットワーク相談事業

医療機関が院内感染予防及び院内感染発生時の対応について相談できる体制を整備するため、院内感染に関する専門家からなるネットワークを構築し、県内において地域における院内感染対策支援を行った。

1. 感染症対策の会議及び講演会

(1) 令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会総会・特別講演会

開催日：令和5年6月16日 於：テレビ会議システム利用 出席者：535名

〈プログラム〉

ア. 総会

(ア) 令和4年度事業報告について

(イ) 令和5年度事業計画について

イ. 一般演題

(ア) 演題：「外来感染対策向上加算提出データからみる手指消毒使用量データについて
～集計報告と今後の提案～」

演者：公立富岡総合病院 看護部 赤澤幸恵 様

(イ) 演題：「外来感染対策向上加算の集計結果報告」

演者：公立富岡総合病院 薬剤部 金井 威 様

(ウ) 演題：「感染症発生状況 薬剤耐性菌分離状況等 集計結果報告」

演者：鶴谷病院 検査室 恩田昌代 様

ウ. 特別講演

演題：「静岡のAMR対策（地域の取り組み）」

講師：静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 部長 倉井華子 先生

(2) 令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会鳥インフルエンザに関する講演会

開催日：令和5年12月4日 於：テレビ会議システム利用 出席者：187名

演題：「鳥インフルエンザの現況と今後の対策」

講師：北海道大学大学院獣医学研究院 微生物学教室 教授 迫田義博 先生

(3) 令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス

開催日：令和5年12月8日 於：テレビ会議システム利用 出席者：486名

〈一般演題〉

(ア) 演題：「施設訪問における感染対策の現実と課題 ～新米 CNIC の視点から～」

演者：前橋赤十字病院 感染管理室 齊藤 悟 様

(イ) 演題：「J-SIPHE を利用した抗菌薬使用料サーベイランス」

演者：高崎総合医療センター 薬剤部 麻下絢乃 様

(ウ) 演題：「J-SIPHE の微生物・耐性菌関連情報の現状について」

演者：公立藤岡総合病院 細菌検査室 長谷川聡子 様

〈特別講演〉

演題：「リハビリテーションの現場での感染対策 ―うつらない・うつさない訓練のポイント―」

講師：国立国際医療研究センター 診療科長 藤谷順子 先生

(4) 令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会合同訓練

開催日：令和6年2月16日 於：テレビ会議システム利用 出席者：365名

〈感染対策訓練〉

演題：「群馬県における一類感染症発生時の対応について（令和5年11月8日の訓練の報告）」

講師：群馬県健康福祉部 感染症・がん疾病対策課 下田貴博 様

前橋市保健所 保健予防課 羽鳥 徹 様

群馬大学医学部附属病院 感染制御部 大嶋圭子 様

〈特別講演〉

演題：「感染症パンデミックと災害医療 ～コロナの体験から見えること～」

講師：神奈川県理事（医療危機対策担当）、藤沢市民病院副院長 阿南英明 先生

(5) 群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会

ア. 第1回

開催日：令和5年5月10日 於：群馬メディカルセンター 大ホール 出席者：43名

〈議事〉

(ア) 5類移行後の対応について

(イ) 5/2の合同訓練の報告

(ウ) 「介護施設の管理者・リーダー研修」について

(エ) 群馬県感染症対策連絡協議会総会について

(オ) ICN 分科会の会議予定について

(カ) WG の今年度の活動と再編成について

(キ) 新たに参加された方の紹介

(ク) その他

イ. 第2回

開催日：令和5年8月10日 於：高崎市内 出席者：32名

〈議事〉

(ア) グループの進捗状況

(イ) 新グループ「手順書の更新」「精神科の感染対策」「リハビリの感染対策」について

(ウ) 新型コロナ対応の現状

(エ) 川島先生より、今後の感染症対策の取り組みについて

a. コロナウイルス感染症後のパンデミックに備える

鳥インフルエンザ対策

獣医との連携（北海道大学 迫田義博教授）

b. 梅毒講演会

10月12日 札幌医科大学 高橋 聡 教授

c. 11月8日 一類感染症対策（群馬大学医学部附属病院）

d. 災害時の感染症対策（DICT）今後の取り組みについて

(オ) その他

ウ. 第3回

開催日：令和5年10月11日 於：テレビ会議システム利用 出席者：49名

〈議事〉

(ア) クラスターの対応状況と対策

→工夫していること、大変なこと WGの進捗状況について

(イ) WGグループ編成

(ウ) 川島先生より、今後の感染症対策の取り組みについて

a. 今後の講演

b. 鳥インフルエンザ

c. 幼稚園、保育園感染対策

d. 災害時の感染症対策（DICT）について

(エ) その他

エ. 第4回・特別講演会

開催日：令和6年1月24日 於：群馬県社会福祉総合センター 出席者：81名

演題：「感染管理ネットワーク新潟（ICNN）の活動について」

講師：新潟大学地域医療研究センター 魚沼基幹病院 感染管理認定看護師 目崎 恵 様

オ. 第5回

開催日：令和6年3月21日 於：群馬メディカルセンター 出席者：53名

〈議事〉

(ア) WG活動報告、進捗状況

(イ) 2024年度の予定

a. ICN分科会年間活動計画

b. 学会発表予定（演題登録含）

次年度以降の学会当番

c. 看護協会講師当番

d. ICNあての研修等の依頼と講師の割り振りについて

e. 2024年度名簿

f. 加算1相互評価組み合わせ表差し替え

(ウ) 高齢者施設等対象研修について

(エ) 群馬県内医療機関リンクナース対象研修について

(オ) その他

2. 院内感染対策相談支援

県内医療機関等からの相談または、支援依頼に対して助言等を行った。

3. 医療機関ラウンド調査

- (1) 開催日：令和6年2月16日 於：公立碓氷病院
- (2) 開催日：令和6年2月22日 於：公立碓氷病院

Ⅲ 公衆衛生疾病治療推進事業

第1. 糖尿病・腎臓病対策事業

糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中など動脈硬化性疾患の最大の危険因子であり、成人の4人に1人が糖尿病という高い罹患率をもつ。近年は発症年齢の若年化も大きな問題であり、その対策は急務である。増加し続ける糖尿病と腎臓病の発症・重症化予防、及び合併症の発症・重症化予防を目的とし、県内各地域において早期発見・早期治療、医療連携の推進に尽力している。また、県民の健康増進のために群馬県と群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを改訂するとともに、保健指導マニュアルを作成し、説明会を開催した。

〈主な事業〉

1. 公衆衛生委員会

開催日：令和5年4月17日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：22名

〈議題〉

- (1) 群馬県糖尿病地域連携ネット（Gunma DM net）について
- (2) 群馬県地域糖尿病療養指導士について
- (3) 令和4年度群馬県糖尿病対策推進事業一覧について
- (4) 糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて
- (5) 腎臓病対策について
- (6) 禁煙活動について
- (7) 循環器病対策病診連携推進事業について

2. 世界糖尿病デーにおける啓蒙活動

- (1) 上毛新聞への突き出し広告掲載 令和5年11月12日
- (2) 草津湯畑・高崎総合保健センター・高崎白衣観音・臨江閣・邑楽町シンボルタワー未来 MiRai におけるブルーライトアップ

3. 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム説明会

開催日：令和6年1月15日 於：テレビ会議システム利用 出席者：65名

第2. 禁煙対策事業

喫煙とそれに伴う受動喫煙による健康被害は、肺がんを始めとして口腔・咽頭がん、食道がん、膀胱がんなどの多くのがん・心血管系疾患・呼吸器系疾患及び歯周疾患など全身の健康に影響を及ぼすことが明らかになっている。

群馬県歯科医師会及び群馬県薬剤師会と協働し「群馬県禁煙支援医師・歯科医師・薬剤師ネットワーク」を構築。受動喫煙の防止及び禁煙対策を一層推進するため、群馬県に協力した。

1. 全国禁煙アドバイザー育成講習会

開催日：令和5年11月5日 於：高崎健康福祉大学 出席者：25名

第3. COPD 対策事業

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、現在、全国で21万人が治療を受けており、推定患者数は530万人とされている。COPD の主な原因は喫煙であることが多く、予防可能な疾患であるにもかかわらず、多くの人々に認知されていない現状がある。予防から早期発見、適切な医療提供、普及啓発を行うため、群馬県と協力した。

第4. 循環器病対策病診連携推進事業

心不全を含めた循環器病は、急性期には発症後に早急かつ適切な治療を開始する必要があるとともに、回復期・慢性期においても再発・増悪しやすいという特徴がある。これまで、急性期の治療を終えた患者を地域に戻していくという、病院から診療所への患者の流れが中心であったが、今後は、地域において心不全を含めた循環器病を予防し、再発・増悪した際に急性期の病院に円滑につないでいくという診療所から病院への患者の流れがより重要になってくる。

令和5年度は、心不全健康管理手帳を改訂し増刷するとともに、心不全の予防や知識の普及啓発のため、市民公開講座を開催した。

IV 医療水準向上事業

第1. 医療施設経営改善支援事業

平成6年度より医業経営の安定化を支援し国民医療の確保に資することを目的として、医療施設経営改善支援事業を展開し、群馬県では県医師会がその事業を委託され研修会を中心に事業を行った。平成10年度厚生労働省としての事業を終了、群馬県の事業が14年度で終了となったが、事業継続の要望が多く県医師会の事業として毎年開催している。令和5年度は、医療施設経営改善支援研修講演会の開催を、群馬県病院協会との共催で2回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第2. 群馬県感染症対策連絡協議会事業

医療現場での院内感染対策については、各病院・診療所でも感染対策マニュアルの作成と感染対策委員会の設置等を行い対応しているが、専門家が不足していることもあり、十分とは云えない状況であることから、県医師会では平成22年に群馬県 ICD 連絡協議会を設立した。県内の院内感染対策の専門家に世話人として参画していただき、院内感染を担う人材の育成のための講演会の企画、感染症対策の相談への対応など、院内感染対策の充実を図っている。

院内感染対策は医療関係者の連携が不可欠なことから、平成24年度より、医師・看護師・薬剤師・検査技師にも参加を呼びかけ、名称も新たに「群馬県感染症対策連絡協議会」と変更した。平成30年度より医療関連団体に構成団体として賛同いただき、役員会を組織した。

また、群馬県感染症対策連絡協議会として、群馬県院内感染地域支援ネットワーク相談事業を行った。

V 母体保護対策事業

第1. 母体保護法関連事業

母体保護法の規定に基づいて、審査委員会を設営し、人工妊娠中絶を行うことのできる医師の指定や審査を行い、それに伴う研修会を開催し、スキルアップに務めた。また、指定医師の責務である適正な母性の生

命健康の保護について周知した。

1. 母体保護法指定医師審査委員会

開催日：令和5年10月31日 於：群馬県医師会

〈議題〉

(1) 更新申請者審査

更新対象者81名・更新申請者77名・更新辞退者4名・新規申請者2名・施設異動申請者1名

2. 母体保護法指定医師研修会

(1) 第1回

開催日：令和5年6月24日 於：群馬県医師会 出席者：29名

ア. 演題：「母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会長 永山雅之 先生

イ. 演題：「生命倫理に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦 先生

群馬大学医学部附属病院周産母子センター助教 日下田大輔 先生

ウ. 演題：「医療安全・救急処置に関するもの」

講師：群馬県医師会理事 佐藤雄一 先生

(2) 第2回

開催日：令和5年9月16日 於：群馬県医師会 出席者：19名

ア. 演題：「母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会長 永山雅之 先生

イ. 演題：「生命倫理に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦 先生

群馬大学医学部附属病院周産母子センター助教 日下田大輔 先生

ウ. 演題：「医療安全・救急処置に関するもの」

講師：群馬県医師会理事 佐藤雄一 先生

Ⅵ 医療情報システム対策事業

第1. IT・医療情報システム事業

平成11年より独自サーバによる運用を開始したインターネット事業は数多くの会員が利用しており、メーリングリストやホームページによる情報発信を行っている。

群馬県内の医療機関におけるサイバー空間の脅威に対し的確に対処するため、群馬県医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定を締結している群馬県警察サイバーセンターの協力の下、医療機関に対する標的型メール攻撃訓練やサイバーセキュリティセミナーを開催した。

1. IT 推進会議

(1) 第1回 開催日：令和5年4月11日 於：群馬県医師会

(2) 第2回 開催日：令和5年5月12日 於：群馬県医師会

(3) 第3回 開催日：令和5年6月5日 於：群馬県医師会

(4) 第4回 開催日：令和5年7月4日 於：群馬県医師会

(5) 第5回 開催日：令和5年9月5日 於：群馬県医師会

(6) 第6回 開催日：令和5年10月11日 於：群馬県医師会

(7) 第7回 開催日：令和5年12月11日 於：群馬県医師会

(8) 第8回 開催日：令和6年1月17日 於：群馬県医師会

(9) 第9回 開催日：令和6年2月20日 於：群馬県医師会

〈主な議題〉

ア. 群馬県警察サイバーセンター「医療機関に対する標的型メール攻撃訓練」について

イ. 医師会員向け情報セキュリティ説明会について

ウ. インターネットに関する高額なセキュリティ機器やネットワーク機器の訪問営業についての注意喚起について

エ. 「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業者向け～」について

オ. オンライン請求の割合を100%に近づけていくためのロードマップ案及び医療DXの推進に関する工程表について

カ. データヘルス改革・医療DXの進捗状況について

2. 令和5年度日本医師会医療情報システム協議会

開催日：令和6年3月2日・3日 於：日本医師会（ハイブリッド開催） 出席者：517名

メインテーマ：「医療DXで何がかわるか!? ～国民と医療者が笑顔になるために～」

セッション内容：

I. 医療DXについて

II. 医療DXと地域医療情報連携ネットワーク

III. オンライン診療・遠隔診療

3. 情報セキュリティ説明会

開催日：令和6年1月16日 於：WEB開催 出席者：60名

演題：「病院・クリニックをサイバー攻撃から守るために ～厚生労働省『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン6.0版』対応に向けて～」

講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株) 亀岡義文氏、神木秀之氏

4. メール訓練を踏まえたサイバーセキュリティセミナー

開催日：令和6年2月5日 於：WEB開催 出席者：58名

演題：「メール訓練を踏まえたサイバーセキュリティ対策について」

講師：群馬県警察サイバーセンター 中村直人氏

5. 日医標準レセプトソフト

日本医師会が推奨する日医標準レセプトソフトは、群馬県内では355医療機関で導入されている。

Ⅶ 医療安全対策事業

第1. 医事紛争対策事業

県医師会員の医事紛争に対し相互扶助として昭和34年に発足した医療事故処理会は、現在医療事故対策委員会として引き継がれ、現況報告・事故防止対策等について協議を行っている。また、平成11年より事案の対応機関として医事紛争調査会を通常月1回開催し、関係医療機関から報告を受けるとともに、必要があれば弁護士に依頼し、医療機関及び患者等のために紛争等の早期対応・解決に努めてきた。

平成16年には「医療事故防止の活動指針」を策定し、医療事故発生の原因究明、再発防止を図るとともに、医療事故が多発する施設に対し指導を行った。

制度発足以来、令和6年3月までに受理した医事紛争件数は959件でそのうち923件を処理解決した。また、日本医師会に付託した件数は154件で、146件を処理解決した。

1. 医療事故対策委員会

開催日：令和6年2月28日 WEB開催 出席者：14名

〈議題〉

- (1) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の報告について
- (2) 群馬県の医事紛争処理状況について
- (3) 医事紛争処理について
- (4) 医療安全対策研修会について
- (5) 医療関係者の安全確保について

2. 医療安全対策研修会

第1回

開催日：令和5年7月29日 於：群馬ロイヤルホテル 出席者：83名

演題：「医療機関から始める『NO！暴力』の文化づくり」

講師：群馬県警察本部長 小笠原和美 様

演題：「ノー・ヒット・ゾーン：健康問題としての暴力を考える」

講師：前橋赤十字病院小児科副部長 溝口史剛 先生

第2回（群馬県有床診療所協議会との共催）

開催日：令和5年12月16日 於：ホテルラシーネ新前橋 出席者：46名

演題：「医療事故調査制度および医療安全対策の現状と日本医師会の取り組み」

講師：日本医師会常任理事 細川秀一 先生

第3回

開催日：令和6年2月10日 於：ホテル1-2-3前橋マーキュリー 出席者：84名

演題：「医療機関での暴言暴力に対する医療安全 ―実践的な行動マニュアル―」

講師：NPO 法人国際緊急医療・衛生支援機構（IEMS-Japan）理事長 箱崎幸也 先生

3. 医療事故・医事紛争事例報告会

※中止

第2. 医療事故調査制度対策事業

平成27年10月より施行された医療事故調査制度に関わる事業として、県医師会は医療事故調査等支援団体に指定され県内の医療機関からの相談等を受け付けている。令和5年度の相談件数は、院内調査委員会への外部委員派遣依頼について2件あり、本会担当理事及び専門家を委員に推薦した。また、講演会は群馬県と群馬大学・高崎健康福祉大学との共催により、世界患者安全の日である9月16日に開催し、医療関係者への制度の理解と普及に努めた。さらに県内の支援団体のまとめ役を担っていることから、群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催し、21支援団体と相互の連携を確認する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

1. 医療安全対策講演会

開催日：令和5年9月16日 於：ホテル1-2-3前橋マーキュリー 出席者：92名

演題：「医療安全施策の動向」

講師：厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室長 松本晴樹 先生

2. 群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会

※開催なし

第3. 医療・苦情相談事業

日本医師会は平成12年より「診療情報に関する指針」を施行し、平成19年には「診療に関する個人情報取り扱い指針」、「診療に関する相談事業運営方針」を施行した。

県医師会でも日本医師会が示した指針に基づき、平成12年2月1日に「診療情報に関する相談窓口」を設置し、診療情報の提供や医療全般に関わる様々な相談・苦情を受け付け、相談内容により担当理事が対応し、必要に応じて医療機関に連絡を取りながら相談者への迅速かつ丁寧な対応を心掛け処理にあたっている。県医師会における令和5年度の相談件数は4件で、現在まで387件（平成12年2月1日～令和6年3月31日）に対応している。

VIII 地域医療介護総合確保基金

第1. 女性医師等就労環境整備・保育支援事業

1. 子育て医師に対する支援事業

子育て医師の出産・育児を理由とした離職防止を図り、県内の医師確保に寄与することを目的として、医療介護総合確保基金を活用し運営している「保育サポーターバンク」は、令和4年度においても引き続き対象となる医師及びサポーターの募集を行い、サポーター向けの研修会を開催した。子育て医師保育支援相談員は、医師が希望する支援内容に基づき、保育サポーター研修会を受講したサポーターの中から支援者をコーディネートした。利用医師に対しては、基金より利用料金の一部等を助成した。また、郡市医師会や行政、大学等から有識者を集め女性医師支援委員会並びに保育サポーターバンク運営委員会を開催し、事業の運営や拡充等についての協議を行い、女性医師等の勤務環境支援に取り組んだ。

令和6年3月現在、登録医師数254名、登録サポーター数263名、令和5年度の総利用時間は16,902時間であった。

2. 「医師のための子育て応援ブック」の発行

県内病院の子育て勤務に関する支援制度や院内保育などの施設情報を掲載した「医師のための子育て応援ブック」を4,000部作成し、会員や臨床研修医、県内高等学校等へ配布を行った。女性医師支援の取組に関心が寄せられ、男女ともに働きやすい環境整備が推進されることを期待する。

3. 第11回女性医師支援委員会

開催日：令和6年1月30日 於：群馬県医師会 出席者12名

〈議事〉

- (1) 保育サポーターの標準単価（報酬）の改定について
- (2) 保育サポーターの現状と募集について
- (3) 保育サポーターバンクにおける病児・病後児の預かりについて

4. 第22回保育サポーターバンク研修会

開催日：令和5年9月10日 於：群馬県医師会 出席者：9名

演題：「子どもの病気とホームケア」

講師：いまいずみ小児科 院長 今泉友一 先生

第2. 多職種連携推進拠点事業

群馬県は高齢化が進んでおり、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需用がさらに増強することが見込まれることから、地域に添った包括的な支援・サービス提供体制の構築（地域包括ケアシステム）が早急の課題となる。

地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種が一堂に会して共通認識を持ち、県民への普及啓発を図る方策について検討する場「オール群馬 群馬県多職種連携推進協議会」で、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る社会の実現に尽力する行政や医療・介護の専門職を紹介し、その役割や特性を踏まえて平成30年4月に全ての市町村で新たに始まった在宅医療・介護連携推進事業等の地域支援事業に資する情報をそれぞれの視点から提示することで、患者ご本人やそのご家族が医療・介護を受ける場合は勿論、健康寿命を延伸させる一助となるような有意義な会議の場を創生した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行下において、各団体と情報共有の場としても活躍した。

また、関連する多職種が患者やその家族のより良い環境作りのために学ぶ場として会議やHP更新を行い、相互理解を深めつつ、患者やその家族に寄り添う心を育むことができた。

1. 群馬県多職種連携推進協議会の運営会議

(1) 第1回

開催日：令和5年6月23日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：17名

〈検討事項〉

ア. 事前アンケートについて

イ. 地域包括支援センターの職員を対象とした家族介護者支援に関する研修カリキュラム及び家族介護者のつどいの場を立ち上げるためのマニュアルについて

ウ. 在宅医療提供機関におけるBCP策定支援研修の実施について

エ. 令和5年度を迎えるにあたっての重要ポイント

オ. トラウマインフォームドケアの講演について

カ. その他

(2) ホームページのリニューアル

第3. 医師（研修医・看護師を含む）を対象とした在宅医療同行研修事業

主に在宅医療の経験のない、或いは経験の少ない医師を対象として、在宅医療同行研修を実施している。

併せて、群馬県在宅療養支援診療所連絡会との共催による研修会を開催しているが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第4. かかりつけ医機能研修事業

日本医師会は、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけ、「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するために「かかりつけ医機能研修制度」を創設した。本事業では、かかりつけ医の養成のために日本医師会がWEB配信した日に群馬県医師会でサテライト会場を設置し開催した。

1. 日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応用研修会

開催日：令和5年8月27日 於：群馬県医師会 出席者：30名

演題：「今後の新興感染症を踏まえた感染対策」

講師：国立国際医療研究センター国際感染症センター長 大曲貴夫 先生

演題：「介護保険制度における医療提供と生活期リハビリテーション」

講師：公益社団法人日本医師会 常任理事 江澤和彦 先生

演題：「口腔・栄養・リハビリテーションの多職種協働による一体的取組」

講師：社会医療法人財団慈泉会相澤病院 栄養科科长 矢野目英樹 先生 他1名

演題：「日常診療で留意する皮膚科・眼科・耳鼻科の症候」

講師：医療法人社団浅井皮膚科クリニック 院長 浅井俊弥 先生 他2名

演題：「尊厳の保持と自立支援のための認知症ケアと生活支援」

講師：社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター長 山口晴保 先生

演題：「症例検討 ～意思決定を尊重した看取り／フレイルの改善へ向けた取組」

講師：医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 高木 暢 先生 他1名

IX 収 益 事 業

第1．集金事務代行事業

生命保険会社7社、損害保険会社4社と団体扱い契約を締結し、事務手数料を受領した。

また会員福利厚生事業の一環としてグループ保険制度を実施し、事務手数料を受領した。

○生命保険会社

アクサ生命、朝日生命、住友生命、第一生命、日本生命、大樹生命、明治安田生命

○損害保険会社

あいおいニッセイ同和損保、損保ジャパン、東京海上日動火災保険

三井住友海上火災保険

第2．事務受託事業

群馬県病院協会をはじめ、医会・同窓会・協議会（17団体）の事務を受託し、円滑な事務執行と各会運営活動の支援を行った。

第3．賃貸事業

1．群馬メディカルセンターの管理運営について

令和5年4月1日現在の入居団体は県医師会・群馬県医師信用組合・群馬県医師国民健康保険組合・群馬産業保健総合支援センター・群馬県栄養士会・群馬県臨床検査技師会・群馬メディカル保険サービス・群馬県診療放射線技師会・群馬県医師連盟の9団体である。

(1) 群馬メディカルセンターの維持及び整備について

ア．建築関係は、受水槽・高架水槽清掃を実施した。

イ．設備関係は、本館1階男子女子トイレ・2階産業保健総合支援センター・4階理事室の蛍光灯安定器をLEDに取替、本館4階県医師会事務室西側ドア修繕、本館2階大ホール・3階非常口誘導灯交換、別館2階煙感知器交換、本館4階理事室エアコン設置、リモコンプレーカー交換工事を実施した。

X 共 益 事 業

第1．会報・会員名簿事業

1．群馬県医師会報

県医師会の会務報告や学術研究の発表、医療保険情報等各種情報の提供、会員の提言などを掲載し月刊で年間12回、33,000部発行した。また、令和5年6月号附録に臨時代議員会の議案書、議事録、8月号に定時代議員会の議案書、議事録を掲載し、2,600部発行した。令和5年9月号に「どうする？〇〇〇〇 ～今向き合う、地域医療の隠れた課題～」をテーマとして特集号を発行した。

2. 広報・会報編集委員会

(1) 第1回

開催日：令和5年6月8日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：13名

〈議題〉

(1) 令和4年度の報告について

ア. 令和4年度経費について

(2) 令和5年度の編集について

ア. 特集号について

イ. 掲載内容について

ウ. 別刷り費用について

第2. 文化厚生事業

各種の文化厚生事業を、会員相互の親睦を図ることを目的として、郡市医師会の支援・協力により実施した。

また、厚生事業委員会を開催し実施計画や今後の事業継続について協議した。

1. 厚生事業委員会

開催日：令和5年5月11日 於：群馬県医師会 出席者：12名

〈議題〉

(1) 令和4年度厚生事業報告

(2) 令和5年度厚生事業について

(3) 予算について

(4) 令和6年度厚生事業について

(5) 厚生事業アンケート調査結果について

2. 北関東三県医師会ゴルフ大会

開催日：令和5年4月29日 於：日光カンツリー倶楽部 担当：栃木県医師会

3県医師会（茨城・栃木・群馬）より47名（群馬15名）が参加し、優勝は栃木県医師会チームであった。

3. 俳句大会

開催日：令和5年5月14日 於：伊勢崎ブリオパレス 担当：伊勢崎佐波医師会

7郡市医師会より18名の投句があり、当日は選者・講師として木暮陶句郎先生を招き、8名の参加者があった。

4. 野球大会

開催日：令和5年6月17日 於：上毛新聞敷島球場 担当：群馬県医師会

3郡市27名の参加者があり、優勝は群馬大学医師会チームであった。

5. ボウリング大会

開催日：令和5年7月30日 於：パークレーン高崎 担当：高崎市医師会

6郡市医師会より56名の参加者があり、優勝は高崎市医師会チームであった。

6. ゴルフ大会

開催日：令和5年10月15日 於：東武藤が丘カントリー倶楽部

担当：館林市邑楽郡医師会

13郡市医師会より93名の参加者があり、優勝は富岡市甘楽郡医師会チームであった。

7. 音楽祭

開催日：令和5年10月29日 於：群馬県医師会 担当：前橋市医師会

3郡市医師会6グループ、43名の参加者があった。

8. テニス大会

開催日：令和5年11月5日 於：清水善造メモリアルテニスコート

担当：高崎市医師会、吾妻郡医師会、沼田利根医師会

6郡市医師会より56名の参加者があり、優勝は高崎市医師会Aチームであった。

9. 麻雀大会

厚生事業委員会にて協議し、高齢化による参加者減少等の理由から中止とした。

10. 囲碁大会

開催日：令和6年2月4日 於：群馬県医師会 担当：群馬県医師会

5郡市医師会他団体より17名の参加者があった。

11. スキー・スノーボード大会

開催日：令和6年3月10日 於：川場スキー場 担当：沼田利根医師会

4郡市医師会21名の参加者があった。

XI 法人会計事業

第1. 代議員会

1. 第155回定時代議員会

令和5年6月22日、代議員72名中69名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。

令和4年度会務報告の後、群馬メディカルセンターについて、次に、群馬リハビリテーション病院について報告が行われた。

議事として、「群馬県医師会会計決算の件」を上程し、監査報告を受けた後可決された。

〈議事〉

第1号議案 令和4年度群馬県医師会会計決算の件

第2号議案 令和6年度群馬県医師会の入会金、会費及び負担金等の賦課徴収及び減免に関する件

2. 第156回臨時代議員会

令和6年1月18日、代議員72名中、66名の出席を得てホテルラシーネ新前橋において開催した。

議事として、「新群馬メディカルセンター建設の件」を上程し、質疑回答の後可決された。

〈議事〉

第1号議案 新群馬メディカルセンター建設の件

3. 第157回臨時代議員会

令和6年3月28日、代議員72名中、70名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。

令和6年度群馬県医師会事業計画書・収支予算書の件、令和5年度群馬県医師会会費減免申請の件が上程され可決された。次に、群馬県医師会監事に山田邦子氏が、群馬県医師会裁定委員に齋藤浩氏が選任された（任期：令和6年3月28日から令和6年6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会終結の時まで）。

〈議事〉

第1号議案 令和5年度群馬県医師会会費減免申請の件

第2号議案 群馬県医師会監事補欠選任の件

第3号議案 群馬県医師会裁定委員補欠選任の件

第2. 理事会

24回開催し、会務全般の執行に努めた。なお、議事については群馬県医師会報に掲載した。

第1回	開催日：令和5年4月12日	於：群馬県医師会
第2回	開催日：令和5年4月27日	於：群馬県医師会
第3回	開催日：令和5年5月11日	於：群馬県医師会
第4回	開催日：令和5年5月31日	於：群馬県医師会
第5回	開催日：令和5年6月13日	於：群馬県医師会
第6回	開催日：令和5年6月30日	於：群馬県医師会
第7回	開催日：令和5年7月13日	於：群馬県医師会
第8回	開催日：令和5年7月28日	於：群馬県医師会
第9回	開催日：令和5年8月9日	於：群馬県医師会
第10回	開催日：令和5年8月30日	於：群馬県医師会
第11回	開催日：令和5年9月13日	於：群馬県医師会
第12回	開催日：令和5年9月29日	於：群馬県医師会
第13回	開催日：令和5年10月13日	於：前橋市内
第14回	開催日：令和5年10月31日	於：群馬県医師会
第15回	開催日：令和5年11月14日	於：群馬県医師会
第16回	開催日：令和5年11月29日	於：群馬県医師会
第17回	開催日：令和5年12月14日	於：群馬県医師会
第18回	開催日：令和5年12月27日	於：前橋市内
第19回	開催日：令和6年1月11日	於：群馬県医師会
第20回	開催日：令和6年1月31日	於：群馬県医師会
第21回	開催日：令和6年2月15日	於：群馬県医師会
第22回	開催日：令和6年2月28日	於：群馬県医師会
第23回	開催日：令和6年3月14日	於：群馬県医師会
第24回	開催日：令和6年3月29日	於：群馬県医師会

第3．郡市会長会議

12回開催し、会務全般の執行に努めた。議事については群馬県医師会報に掲載した。

新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、8月には「暑気払い」、12月には「受章（賞）及び永年勤続役員・職員表彰祝賀会」、1月には「新年会・敬寿会」を開催した。

第1回	開催日：令和5年4月18日	於：群馬県医師会
第2回	開催日：令和5年5月18日	於：群馬県医師会
第3回	開催日：令和5年6月16日	於：群馬県医師会
第4回	開催日：令和5年7月19日	於：群馬県医師会
第5回	開催日：令和5年8月18日	於：前橋市内
第6回	開催日：令和5年9月20日	於：群馬県医師会
第7回	開催日：令和5年10月18日	於：群馬県医師会
第8回	開催日：令和5年11月17日	於：群馬県医師会
第9回	開催日：令和5年12月19日	於：群馬県医師会

〈受章（賞）者〉5名

春の叙勲・旭日双光章：櫻井 洋 先生

春の叙勲・瑞宝双光章：岡田朋彦 先生

秋の叙勲・旭日双光章：後藤達範 先生

群馬県功労者表彰： 有賀長規 先生

群馬県総合表彰： 岡本克実 先生

〈永年勤続役員〉10名

10年：清宮和之 先生、田村 仁 先生、駒井和子 先生、羽鳥則夫 先生、水口滋之 先生、
林 信義 先生、栗原 透 先生、布施正博 先生、林 秀彦 先生、海宝雄人 先生

〈永年勤続職員〉5名

第10回 開催日：令和6年1月18日 於：前橋市内

敬寿会員総数368名（米寿13名、喜寿56名）。米寿・喜寿の先生方には、後日、記念品をお贈りした。

第11回 開催日：令和6年2月20日 於：群馬県医師会

第12回 開催日：令和6年3月19日 於：前橋市内

第4．官庁連絡会議

12回開催し、群馬県健康福祉部関係課をはじめ、関係機関との連絡、協議、情報交換を行った。第6回より群馬県警察本部生活安全企画課に参加いただいている。

第1回 開催日：令和5年4月5日 於：群馬県医師会

第2回 開催日：令和5年5月10日 於：群馬県医師会

第3回 開催日：令和5年6月2日 於：群馬県医師会

第4回 開催日：令和5年7月5日 於：群馬県医師会

第5回 開催日：令和5年8月2日 於：前橋市内

第6回 開催日：令和5年9月5日 於：群馬県医師会

第7回 開催日：令和5年10月4日 於：群馬県医師会

第8回 開催日：令和5年11月7日 於：群馬県医師会

第9回 開催日：令和5年12月5日 於：群馬県医師会

第10回 開催日：令和6年1月10日 於：群馬県医師会

第11回 開催日：令和6年2月2日 於：群馬県医師会

第12回 開催日：令和6年3月5日 於：群馬県医師会

第5．各種委員会

委員会の開催状況は次のとおり。

1．公衆衛生委員会

開催日：令和5年4月17日

2．厚生事業委員会

開催日：令和5年5月11日

3．広報・会報編集委員会

開催日：令和5年6月8日

4．医療保険委員会

開催日：令和5年5月16日

5．介護保険委員会・地域包括ケアシステム委員会

開催日：令和5年5月15日、令和6年1月24日

6．学術・生涯教育委員会

開催日：令和5年9月26日

7. 産業衛生委員会
開催なし
8. 女性医師支援委員会
開催日：令和6年1月30日
9. 医療関連職対策委員会
開催日：令和5年9月6日
10. 母体保護法指定医師審査委員会
開催日：令和5年10月31日
11. 勤務医委員会
開催日：令和6年2月5日
12. 学校保健委員会
書面開催
13. 救急・災害医療対策委員会
開催日：令和6年3月7日
14. 医療事故対策委員会
開催日：令和6年2月28日
15. 小児保健委員会
開催なし
16. 精度管理委員会
開催日：令和5年5月23日、6月19日、令和6年2月13日
17. 定款改正委員会
開催なし
18. 感染症・予防接種対策委員会
開催なし
19. 労災・自賠責委員会
開催なし
20. 医療情報システム委員会
開催なし
21. 選挙管理委員会
開催なし

第6. 関東甲信越医師会連合会

医師会本来の目的である医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、社会福祉を増進することを達成するため、関東甲信越地区の各都県医師会で構成する関東甲信越医師会連合会の事業に積極的に参加し、各都県医師会相互の連絡協調、日本医師会に対する協力及び意見具申を行うため、栃木県医師会の担当により下記のとおり各種会議が開催された。

- (1) 常任理事会 3回
- (2) 理事会 2回
- (3) 定例会 1回
- (4) 医療保険部会 1回
- (5) 介護保検・地域包括ケア部会 1回
- (6) 救急災害部会 1回

- (7) 医師会共同利用施設分科会（山梨県医師会担当）
- (8) 関医連所属医師会長・日本医師会代議員合同会議 2回

第7. 関東甲信越静地区衛生主管部（局）長・医師会長合同協議会

長野県と長野県医師会の担当により、令和5年7月8日にホテル国際21において、関東甲信越静地区の衛生主管部（局）長と担当者及び医師会役員の協力を得て、行政と医師会に係わる医療に関する諸問題について協議・開催された。

1. 議題

- (1) 医師の働き方改革による地域医療への影響について
- (2) 第8次医療計画策定に向けた方向性について ～入院病床数に偏りすぎた議論から脱却し、地域包括的な議論を～

2. 承り事項

- (1) 外来機能報告制度の現状と課題について
- (2) かかりつけ医に関しては制度化するのではなく、自己研鑽することによりその機能を強化することで国民の信頼に応えることが重要である
- (3) 自由診療で行われるオンライン診療の現状について
- (4) キャリア形成卒前支援プロジェクトの効果的な実施について
- (5) 新型コロナウイルス感染症5類変更後の感染再拡大の入院調整について
- (6) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進について
- (7) フレイル対策、介護予防を目的とした「高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施」におけるかかりつけ医の役割、医師会の取り組み及び行政との連携に関すること

第8. 日本医師会

1. 第154回日本医師会定例代議員会

開催日：令和5年6月25日

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、藤塚 勲

報告：令和4年度日本医師会事業報告の件

議事：第1号議案 令和4年度日本医師会決算の件

第2号議案 令和6年度日本医師会会費賦課徴収の件

第3号議案 日本医師会常任理事選任・選定の件

2. 第155回日本医師会臨時代議員会

開催日：令和6年3月31日

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、藤塚 勲

報告：令和6年度日本医師会事業計画及び予算の件

3. 都道府県医師会長会議

3回開催された。

- (1) 開催日：令和5年7月18日
- (2) 開催日：令和5年10月17日
- (3) 開催日：令和6年1月30日

4. 群馬県医師会選出の日本医師会役員及び委員会委員等

任期（令和4年度～令和5年度）

- (1) 常任理事：釜菴 敏

- (2) 議事運営委員会委員：川島 崇
- (3) 財務委員会委員：今泉友一
- (4) 医師の働き方評価センター事業運営委員委員長：須藤英仁
- (5) 医療関係者検討委員会委員長：須藤英仁
- (6) 生涯教育推進委員会委員：川島 崇
- (7) 医療安全対策委員会委員：渡邊秀臣
- (8) 医療秘書認定試験委員会委員：服部徳昭
- (9) 母子保健検討委員会委員：佐藤雄一
- (10) 病院委員会委員委員：鶴谷英樹
- (11) 未来医師会ビジョン委員会委員：須藤雄仁
- (12) 選挙管理委員：清宮和之
- (13) 予備選挙管理委員：渡邊秀臣